

マクニカ、NASCAR ARCA 開幕戦デイトナ参戦を果たす
古賀琢麻選手（JERRY PITTS TOYOTA RACING 所属）のスポンサーへ！
次世代モビリティ技術の実証実験の場として活用。

株式会社マクニカ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原 一将、以下マクニカ）は、NASCAR ARCA 2024年シーズンにおいて、JERRY PITTS TOYOTA RACING 所属 NASCAR ドライバーの古賀琢麻選手を支援することを本日発表いたします。古賀選手は、現地時間2月17日（土）、自身初となる、NASCAR ARCA メナーズシリーズ開幕戦『デイトナ ARCA200』（於・デイトナインターナショナルスピードウェイ）に挑みます。

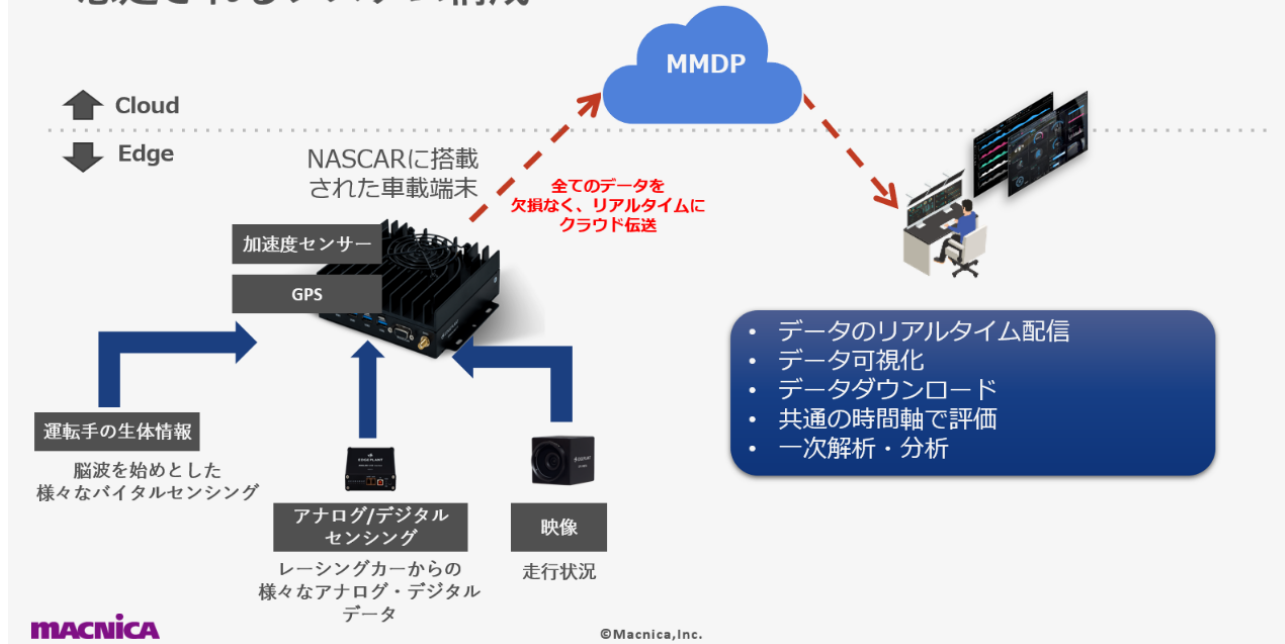


参戦発表会にて古賀琢麻選手（右）と、古賀の応援団長であり長年の友人の横山剣さん（左）

■プロモータースポーツにおける極限状態で、最先端テクノロジーの実証実験へ。

マクニカは、NASCAR のスポンサーを通じ、自社の最先端テクノロジーの実証のため、データ収集を行います。オリジナルのフリートマネジメントシステム everfleet（エバーフリート）を通じ、クラウドベースで収集した各種データを、データプラットフォームである Macnica Mobility Data Platform（以下 MMDP）に同期することを検証します。また、脳波を測定・AI 解析する InnerEye により、極限状態のドライバーの脳波を含む生体情報を収集し、集中度、ストレス等を分析し、事故防止、快適な走行を可能にする次世代モビリティ開発に活用できるようにします。

想定されるシステム構成



■ 古賀琢麻選手のコメント

「NASCAR レーサーを目指した 12 歳からの夢であった、DAYTONA でのレースにマクニカ様のサポートをいただき参戦できることに感謝いたします。マクニカ様とは 300 キロ以上のスピード下での車両データ収集と、3G 以上のGフォースを受けながら 2 時間以上のドライビングをするレーサーのバイタルセンシング測定を併せた、極限状態でのテクノロジー実証実験が可能だと思っております。2024 年を最高の結果でお答えします。」

■ 次世代モビリティへの進化をトータルにサポートする、マクニカのスマートモビリティ事業

マクニカは、半導体とセキュリティ分野で培ってきた、ハード・ソフト両面における技術力を活用し、サイバー & フィジカルシステムの分野でビジネス領域を拡大しています。その一つが、スマートモビリティ事業です。自動運転 EV バスの実装をはじめ、遠隔監視システムや MaaS、それを統合するデータプラットフォームなど、モビリティの進化に欠かせない「土台」を確かな技術力で支えます。まだ見ぬ未来の街をカタチにするために、マクニカは最先端テクノロジーを探索していきます。

※本文中に記載の社名及び製品名は、株式会社マクニカおよび各社の商標または登録商標です。

※ニュースリリースに掲載されている情報（製品価格、仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご承知ください。

株式会社マクニカについて

マクニカは、半導体、サイバーセキュリティをコアとして、最新のテクノロジーをトータルに取り扱う、サービス・ソリューションカンパニーです。世界 23 か国/地域 81 拠点で事業を展開、50 年以上の歴史の中で培った技術力とグローバルネットワークを活かし、AI や IoT、自動運転など最先端技術の発掘・提案・実装を手掛けています。

マクニカについて : www.macnica.co.jp